

年 組 名前：

## 富士の環境 散策で知る 溶岩壁観察、ゲーム体験も

富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合（吉田恩組）は12日、富士山周辺の組合管理地で、県富士山科学研究所の研究員による解説付きの自然散策や、環境について考えるカードゲームの体験会を開いた。

富士山噴火の痕跡や恩賜林について知り、富士山の環境を考察。同研究所の吉本充宏研究部長が「山中湖を形成し



鷹丸尾溶岩でできた岩壁を観察する参加者ら  
＝富士山麓

を考えてもらおうと初めて企画。国中地域を中心に、子どもから高齢者まで35人が参加した。

参加者は普段自由に立ち入りできない管理地に入り、約1500年前の「鷹丸尾溶岩」でできた高さ5メートルほどの岩壁を観察。同研究所の吉本充宏研究部長が「山中湖を形成し



意見を交わしながらカードゲームを楽しむ参加者ら＝富士吉田・ふじさんのぬく森キボキボ

(2025 年 10 月 13 日付 山梨日日新聞 16 面)

問1 富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合は、いつ、どこで、どのようなイベントを行いましたか。

・いつ： ..... ・どこで： .....

・どのような： .....

問2 このイベントを企画した理由を教えてください。

問3 参加者は普段自由に立ち入りできない場所で、何を観察しましたか。

「リトミライ」を体験した。甲斐・双葉西小6年の中田悠都さんは「1500年前の溶岩と聞いて、長い歴史に驚いた。普段入れないところで、とても貴重な経験ができて面白かった」と話した。

〈赤池悠〉